奈良工業高等専門学校			開講年度	令和03年度(2021年度)	授業	と	プレゼンテ	ノコン大品	
科目基础			1.13213 1.12	11-12-0		, ,,,,,				
科目番号		0029		科目区分	-	一般 / 選択				
授業形態		講義		単位の種別と単		<u></u>				
開設学科		システム創	システム創成工学専攻(情報システムコース)				専2			
開設期		前期		週時間数	2	2				
教科書/教		Handouts	 を配布する		•					
担当教員		金澤 直志								
到達目	 標	•								
+自分自	身の学ぶ習慣	を充実させ、	ることができる 自分自身で「知り に、論理的科学的	りたい」ことをみて 的に英語で自分自身	つけられるようにす Pの考えを表現でき	することが きるように	できる なること	ができる		
ルーブ	リック									
			理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安			
Class Participation Test			20/25		18/25		10/25			
			25/30		20/30		10/30			
Handout	īs		36/45		27/45			10/45		
学科の	到達目標項	目との関係	-							
JABEE基 システム	準 (a) JABEE 創成工学教育	基準 (f)		1 システム創成工	学教育プログラム	学習・教育	育目標 C-∶	2		
教育方法	法等									
概要		学生自身が 習慣をつけ つでも多く のものの考	必要とする英語表 ることを忘れない の表現を蓄積して え方を培っていき	表現に出会い、一ついで欲しい。このフ ていって欲しい。このフ でいって欲しい。時 きたい。	oでも多く英語で <i>の</i> プレゼンテーション 快画や音楽教材もフ	D自己表現 レ対策では プレゼンテ	の方法を 、英語を ーション	蓄積していって 学ぶ上で重要な対策として利用	て欲しい。自分で学ぶ な事項が多いので、一 用することで、英語で	
聴衆を れる。 ブレゼ 授業の進め方・方法 聴衆良 武器と		れる。残念 プレゼン内容 聴衆良高専 武器として	ながら、日本でに ーションを行って を取り違えること の専攻科生は伝え の発表」に欠けて	は「言葉を武器」と ている場合が多い。 となく、発表者の意 えたい内容に関して	_して利用する方法 すばらしい内容を 類図も間違いなく∏ こは申し分ないのた ほプレゼンテーショ	stが系統だ ₹聴衆が求 E確に伝わ ぎが、残念 ∃ン」の授	った教科 めている る。 ながら、 業では、	として確立され 『見せ方』であ その表現方法(聴衆を意識し、	として高校で叩き込ま れず、体験的(主観的)に あらわせば、決して、 こは聴衆を意識した「 発表者の意図を間違 ている。	
		関連科目コミュニケ	ーション英語							
	位の履修上 属性・履修	コミュニケー学習指説得力の当時では、対している。対している。	るプレゼンテーシ 習						強していく での日々の英語学習に	
学修単位 授業の原		コミュニケニュニケニション・ロックの大きない。ロックの大きないでは、アンドル・ファイ・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・	針 るプレゼンテーシ 習 身につけてほしい	ハ。英語を利用した		ことの方が		のため、家庭で		
学修単作 授業の原 □ アクラ	属性・履修 ティブラーニ:	コミュニケニュニケニション・ロックの大きない。ロックの大きないでは、アンドル・ファイ・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・	針 るプレゼンテーシ 習 身につけてほしい れることになる。	ハ。英語を利用した	なければ、忘れるこ	ことの方が		のため、家庭で	での日々の英語学習に	
学修単作 授業の原 □ アクラ	属性・履修 ティブラーニ: 画	コミュニケ語学の表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表	針 るプレゼンテーショ 関身につけてほしい れることになる。	ハ。英語を利用した	なければ、忘れるこ	ことの方が	多い。そ	のため、家庭	での日々の英語学習に	
学修単作 授業の原 □ アクラ	属性・履修ティブラーニ	コミュニケニュニケニュニケニュニケニョアを対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	針 るプレゼンテーショ りまいけてほしいれることになる。 ロー ICT 利用	小。英語を利用した	はければ、忘れるこ	た 週ごとの	3多い。そ 0到達目標	のため、家庭	での日々の英語学習に 検のある教員による授業	
学修単作 授業の原 □ アクラ	属性・履修ティブラーニ	コミュニケョンには、アンガーの注意では、アンガーのでは、アン	針 るプレゼンテーショ りまいけてほしいれることになる。 ロー ICT 利用	ハ。英語を利用した	はければ、忘れるこ	た 週ごとの	3多い。そ 0到達目標	のため、家庭	での日々の英語学習に	
学修単位 授業の原 □ アクラ	属性・履修 ディブラーニ 画	コニュニア指別の大学を担当の大学を担当に対しています。一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、	針 るプレゼンテーショ りまいけてほしいれることになる。 ICT 利用 業内容 attroduction of th	小。英語を利用した	はければ、忘れるこ	た - 過ごとの - 講義の記	が多い。そ の到達目標 説明、メデ	のため、家庭	での日々の英語学習に	
学修単作 授業の原 □ アクラ	属性・履修 ティブラーニ 画	コニュニケ ヨニュニア 第4月 13月 第4月 13月 第5月 13月 13月 13月 13月 13月 13月 13月 13	針 るプレゼンテーショ 身につけてほしい れることになる。 ICT 利用 業内容 atroduction of th	小。英語を利用した	はければ、忘れるこ	た 過ごとの 講義の記 教材に関	7 9 0到達目標 说明、メテ 関する解説	のため、家庭 実務経験	での日々の英語学習に	
学修単作 授業の原 □ アクラ	属性・履修ティブラーニ	コニュニケ ディー 2 3 3 3 3 M M M M M M M M M M M M M M M	針 るプレゼンテーショ りにつけてほしいれることになる。 ICT 利用 業内容 htroduction of thovie 1-1 ovie 1-2	小。英語を利用した	はければ、忘れるこ	に 過ごとの 講義の記 教材に関 教材に関	が多い。そ D到達目標 説明、メテ 割する解訪 割する解訪	のため、家庭 □ 実務経験 □ 実務経験 □ 実務経験 □ ボイアを聞き取 w が理解できる	での日々の英語学習に	
学修単作 授業の原 □ アクラ	属性・履修 ティブラーニ 画 1stQ	コニュニケ	針 るプレゼンテーショ りにつけてほしいれることになる。 ICT 利用 業内容 itroduction of th ovie 1-1 ovie 1-2 ovie 1-3	小。英語を利用した	はければ、忘れるこ	た 過ごとの 講義の記 教材に関 教材に関 英文の書	が多い。そ D到達目標 説明、メテ 割する解訪 割する解訪	のため、家庭 実務経験 ディアを聞き取 が理解できる が できる デンが できる デングラ アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・ア	での日々の英語学習に	
学修単位 授業の原 □ アクラ	属性・履修 ティブラーニ 画 1stQ	コミュニケ ディー 説得する学をか の注意 上の区分 一 近 の注意 上の区分 一 近 の 1週	針 るプレゼンテーショ 関 りにつけてほしい れることになる。 ICT 利用 は 禁内容 htroduction of th ovie 1-1 ovie 1-2 ovie 1-3 /riting 1	小。英語を利用した	はければ、忘れるこ	た 週ごとの 講義の認 教材に限 英文の書 承の役害	を	のため、家庭 実務経験 ディアを聞き取が理解できる か できる きずきる	での日々の英語学習に	
学修単位 授業の原 □ アクラ	属性・履修 ディブラーニ 画 1stQ	コニュー デュー デュー デュー デュー デュー デュー デュー デ	針 るプレゼンテーショ 関身につけてほしい れることになる。 ICT 利用 ICT 利用 ICT 利用 ICT 利用 Ovie 1-1 Ovie 1-2 Ovie 1-3 (riting 1	小。英語を利用した	はければ、忘れるこ	に 過ごとの 講義の 説 教材に 関 英文の 書 の 役害 結の 役害	D到達目標	のため、家庭では、実務経験です。 「イアを聞き取るが理解できる。 おが理解できる。 子が理解できる。 きる。	での日々の英語学習に	
学修単位 授業の原 ロ アクラー 授業計画	属性・履修 ティブラーニ: 画 1stQ	コニュー	針 るプレゼンテーミ 習 身につけてほしい れることになる。 ICT 利用 ※ 業内容 atroduction of th ovie 1-1 ovie 1-2 ovie 1-3 /riting 1 /riting 2 /riting 3	小。英語を利用した	はければ、忘れるこ	応 過ごとの 講義の診 教材に関 英文の得 結の役害 転の役害	D到達目標 説明、メテ 関する解訪 引する解訪 書き方の何 別が理解で 別が理解で	のため、家庭では、実務経験でする。 が理解できる。 が理解できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	での日々の英語学習に	
学修単位 授業の原 ロ アクラー 授業計画	属性・履修 ティブラーニ 画 1stQ	コニューケー ディー 1 1 2 1 2 2 3 2 3 3 3 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 4 4 4	針 るプレゼンテーショ りにつけてほしいれることになる。 ICT 利用 ICT 利用 i業内容 htroduction of thovie 1-1 ovie 1-2 ovie 1-3 /riting 1 /riting 2 /riting 3	小。英語を利用した	はければ、忘れるこ	応 週ごとの 講義の記 教材に関 英文の役害 結の役害 起の役害	D到達目標 対する解説 書き方の理解でで 別が理解でで 別が理解でで 別が理解でで	のため、家庭では、実務経験でする。 が理解できる。 が理解できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	での日々の英語学習に	
学修単位 授業の原 ロ アクラー 授業計画	属性・履修 ティブラーニ 画 1stQ	コニューケー ディー ディー ディー ディー ディー ディー ディー ディー ディー ディー ディー ディー ディー ディー ディー ディー アイ アイー アイ	針るプレゼンテーショウ ではいれることになる。 ICT 利用 「業内容 ovie 1-1 ovie 1-2 ovie 1-3 (riting 1 / riting 2 (riting 3 / riting 4 / riting 5	小。英語を利用した	はければ、忘れるこ	た 週ごとの 講義の 謝材に 取 変承の 経動の を を を を を の の の の の の の の の の の の の	ション を	のため、家庭 実務経験 ディアを聞き取 が理解できるが 理解できる 子が 理解できる きる きる きる	での日々の英語学習に	
学修単位 授業の原 ロ アクラー 授業計画	属性・履修 ティブラーニ 画 1stQ	コニュニョン	針るプレゼンテーション リンス リンス リンス リンス リンス リンス リンス リンス リンス リン	小。英語を利用した	はければ、忘れるこ	た 過ごとの 講義 がない ひとの が 数材に 関	シション ション ション ション ション ション ション ション ション ション	のため、家庭 実務経験 まイアを聞き取 が理解できるが はない ままる まきる まきる まきる まきる まきる まきる ことができ	での日々の英語学習に	
学修単位 授業の原 ロ アクラー 授業計画	属性・履修 ティブラーニ 画 1stQ	コニュー	針るプレゼンテーション リンス リンス リンス リンス リンス リンス リンス リンス リンス リン	小。英語を利用した	はければ、忘れるこ	応 週ごとの 講義の 談 教材に 関	シンスを シンのでは、 シのでは、 ・ シのでは、 シのでは、 シのでは、 ・ はいがは、 シのでは、 ・ はいがは、 ものでは、 はいがは、 ものでは、 はいがはいがは、 はいがは、 はいがはいがは、 はいがは、 はいがはいがは、 はいがは、 はいがは、 はいがはいがは、 はいがは、 はいがは、 はいがはいがは、 はいがは、 はいがは、 はいがは、 はいがはいがは、 はいがは、 はいがは、 はいがは、 はいがはいがは、 はいがは、 はいがは、 はいがは、	のため、家庭 実務経験 ディアを聞き取 が理解できる 子が理解できる きる きる ことができる おず理解できる	での日々の英語学習に	
学修単位 授業の原 ロ アクラー 授業計画	属性・履修 ティブラーニ 画 1stQ	コニュニア 指あ。学をか の	針るプレゼンテーション Pic To	小。英語を利用した	はければ、忘れるこ	応 週 講義の記 教材に見 転転ののののですが 数数に 関 を を を を を を を を を を を を を を を を を を	シン・スタン・スタン・スタン・スタン・スタン・スタン・スタン・スタン・スタン・スタ	のため、家庭 実務経験 ディアを聞き取が理解できる か 理解できる ききる ききる ききる ききる ききる ききる が 理解できる か できる か 理解できる か できる か い か い か い か い か い か い か い か い か い か	での日々の英語学習に	
学修単位 授業の原 ロ アクラー 授業計画	属性・履修 ディブラーニ 画 1stQ	コニュニョン ディー ディー ディー ディー ディー ディー ディー ディー ディー ディー ディー ディー ディー ディー ディー ディー ディー アク ブク ブク ブク ブク ブク ブク ブク ブ	針るプレゼンテーショフレゼンテーショフリンドではいけてほしいれることになる。 ICT 利用 I業内容 Arriting 1 Arriting 2 Arriting 3 Arriting 4 Arriting 5 Advertisement 1 Advertisement 2 Avertisement 3 Arriting 6	小。英語を利用した	はければ、忘れるこ	た 過 講義の記 教材はのののののでは、 教教はののののののののでは、 教教はののでは、 教教はののでは、 教教はには、 教教はには、 教教はには、 まとと、 ないには、 ないにはいは、 ないにはいは、 ないにはいは、 ないにはいは、 ないにはいは、 ないにはいは、 ないにはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいは	の到達目の の到達目の が現まる方の理解ででである。 ではまする方の理解ででである。 ではまするが理解ででである。 ではまする。 ではなる。 でなな。 でなる。 でなる。 でなる。 でなる。 でなる。 でなる。 でなる。 でなる。 でなる。 でなる。 でなる。 でなる。 で	のため、家庭 実務経験 イアを聞き取 が理解できる。 きる ことができる きる ことができる きる ことができる きることができる きることができる はっことができる はっことができる が 理解できる さんが 理解できる きんか 異くことがで	での日々の英語学習に	
学修単位 授業の原 ロ アクラー 授業計画	属性・履修 ティブラーニ 画 1stQ	フェーン	針るプレゼンテーショット ではいれることになる。 ICT 利用 IET NO IE	小。英語を利用した	はければ、忘れるこ	た 過 講義の記 教材はのののののでは、 教教はののののののののでは、 教教はののでは、 教教はののでは、 教教はには、 教教はには、 教教はには、 まとと、 ないには、 ないにはいは、 ないにはいは、 ないにはいは、 ないにはいは、 ないにはいは、 ないにはいは、 ないにはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいは	の到達目の の到達目の が現まる方の理解ででである。 ではまする方の理解ででである。 ではまするが理解ででである。 ではまする。 ではなる。 でなな。 でなる。 でなる。 でなる。 でなる。 でなる。 でなる。 でなる。 でなる。 でなる。 でなる。 でなる。 でなる。 で	のため、家庭 でより ま務経験 でする はが理解できる まきる まきる まきる まきる まきる まきる まきる まきる まきる ま	での日々の英語学習に	
学修単位 授業の原 ロ アクラー 授業計画	属性・履修 ティブラーニ 画 1stQ	フェーン	針るプレゼンテーショフレゼンテーショフトロー ICT 利用 「業内容 ITCT 利用 「業内容 ITCT 利用 「対象 ICT 対象 I	小。英語を利用した	はければ、忘れるこ	た 過 講義の記 教材はのののののでは、 教教はののののののののでは、 教教はののでは、 教教はののでは、 教教はには、 教教はには、 教教はには、 まとと、 ないには、 ないにはいは、 ないにはいは、 ないにはいは、 ないにはいは、 ないにはいは、 ないにはいは、 ないにはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいは	の到達目の の到達目の が現まる方の理解ででである。 ではまする方の理解ででである。 ではまするが理解ででである。 ではまする。 ではなる。 でなな。 でなる。 でなる。 でなる。 でなる。 でなる。 でなる。 でなる。 でなる。 でなる。 でなる。 でなる。 でなる。 で	のため、家庭 でより ま務経験 でする はが理解できる まきる まきる まきる まきる まきる まきる まきる まきる まきる ま	での日々の英語学習に	
学修単位 授業の原 アクラー 受業計 前期	属性・履修 ディブラーニ 画 1stQ 2ndQ	コーデー	針るプレゼンテーショフレゼンテーショフレゼンテーショフレゼンテーショフトではいた。 ICT 利用 「業内容 Ariting 1 Ariting 2 Ariting 3 Ariting 4 Ariting 5 Ariting 5 Advertisement 1 Advertisement 2 Ariting 7 Ariting 7 Ariting 7 Ariting 8 Avertisewent 8 Ariting 8 Avertisewent 9 Avertisewent 9 Avertisewent 9 Ariting 9 Avertisewent 9 Ariting 9 Avertisewent 9 Avertisewen	nis class, and Pre	はければ、忘れるこ	た 過 講義の記 教材はのののののでは、 教教はののののののののでは、 教教はののでは、 教教はののでは、 教教はには、 教教はには、 教教はには、 まとと、 教教は、 まといる。	の到達目の の到達目の が現まる方の理解ででである。 ではまする方の理解ででである。 ではまするが理解ででである。 ではまする。 ではなる。 でなな。 でなる。 でなる。 でなる。 でなる。 でなる。 でなる。 でなる。 でなる。 でなる。 でなる。 でなる。 でなる。 で	のため、家庭 でより ま務経験 でする はが理解できる まきる まきる まきる まきる まきる まきる まきる まきる まきる ま	での日々の英語学習に	
学修単位 授業の原 受業計画 授業計画 ボル	属性・履修 ディブラーニ 画 1stQ 2ndQ	コーデー	針るプレゼンテーショウ スター マンファーショウ スター マンファーショウ	nis class, and Pre	はれば、忘れるで □ 遠隔授業対 sentation of	た 過 講義の記 教材はのののののでは、 教教はののののののののでは、 教教はののでは、 教教はののでは、 教教はには、 教教はには、 教教はには、 まとと、 教教は、 まといる。	の到達目の の到達目の が現まる方の理解ででである。 ではまする方の理解ででである。 ではまするが理解ででである。 ではまする。 ではなる。 でなな。 でなる。 でなる。 でなる。 でなる。 でなる。 でなる。 でなる。 でなる。 でなる。 でなる。 でなる。 でなる。 で	のため、家庭 でよい 実務経験 です アを聞き取るが理解できる できる できる できる できる が理解できる きまる ことができる が理解できる が理解できる きまく ことができる きょく ことができる きょく ことができる きょく ことができる かまくく ことができまく ことができまく ことができまく ことができまく ことができる かまく しょう	での日々の英語学習に	
学修単位 授	属性・履修 ディブラーニ 画 1stQ	フェーン 1 1 1 1 1 1 1 1 1	針るプレゼンテーショウになる。 By ICT 利用 ICT 利用 ICT 利用 ICT 利用 ICT 利用 ICT 1 ICT	か。英語を利用した nis class, and Pre	はれば、忘れるで □ 遠隔授業対 sentation of	た 過 講義の記 教材はのののののでは、 教教はののののののののでは、 教教はののでは、 教教はののでは、 教教はには、 教教はには、 教教はには、 まとと、 教教は、 まといる。	の到達目の の到達目の が現まる方の理解ででである。 ではまするが理解ででである。 ではまするが理解できます。 ではまするできます。 ではまするできます。 ではまするできます。 ではまするできます。 ではまするできます。 ではまするできます。 ではまするできます。 ではまするできます。 ではまするできます。 ではまするできます。 ではまするではます。 ではまするできまするできます。 ではまするできまするできます。 ではまするできます。 ではまするできまするできます。 ではまするできまするできます。 ではまするできまするできます。 ではまするできまするできます。 ではまするできまするできます。 ではまするできまするできます。 ではまするできまするできまするできます。 ではまするできまするできます。 ではまするできまするできまするできます。 ではまするできまするできます。 ではまするできまするできます。 ではまするできまするできます。 ではまするできまするできまするできます。 ではまするできます。 ではまするできまするできます。 ではまするできまするできます。 ではまするできまするできます。 ではまするできまするできます。 ではまするできまするできます。 ではまするできまするできまするできます。 ではまするできまするできます。 ではまするできまするできます。 ではまするできまするできまするできます。 ではまするできまするできます。 ではまするできます。 ではまするできまするできます。 ではまするできまするできます。 ではまするできまするできまするできます。 ではまするできまするできまするできまするできまするできます。 ではまするできまするできまするできまするできまするできます。 ではまするできまするできまするできます。 ではまするできまするできまするできまするできまするできまするできます。 ではまするできまするできまするできまするできまするできまするできます。 ではまするできまするできまするできまするできまするできまするできます。 ・ではなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	のため、家庭 でよい 実務経験 です アを聞き取るが理解できる できる できる できる できる が理解できる きまる ことができる が理解できる が理解できる きまく ことができる きょく ことができる きょく ことができる きょく ことができる かまくく ことができまく ことができまく ことができまく ことができまく ことができる かまく しょう	での日々の英語学習に	
学修単位 授	属性・履修 ティブラーニ 画 1stQ 2ndQ	Table Ta	針るプレゼンテージ 習身につけてほしいれることになる。 ICT 利用 「業内容 Arrivation of the ovie 1-1 ovie 1-2 ovie 1-3 (riting 1 friting 2 friting 5 devertisement 1 devertisement 2 devertisement 3 friting 6 (riting 7 friting 8 eview est 学習内容と到達 学習内容	か。英語を利用した nis class, and Pre 世目標 学習内容の到達目	はれば、忘れること 」 遠隔授業対対 sentation of	た の方が ある。 の方が できる。 のできる。 のできる。 のでは、 ののののののですが、 のののののですが、 ののののですが、 ののののですが、 のののですが、 のののですが、 のののですが、 のののですが、 のでは、 の	多い。その 到達 メ 解	のため、家庭 で 実務経験 で イアを聞き取 できる できる できる ことができる おび理解できる おび 理解できる おび 理解できる おび 理解できる おび 理解できる できる とができる とができる とができる とができる とができる とができる とができる とができる とができる とが 理解 こことがで	での日々の英語学習に	
学修単位 授業の原 受業計画 授業計画 前期	属性・履修 ディブラーニ: 画 1stQ 2ndQ	Table Ta	針るプレゼンテーショウになる。 By ICT 利用 ICT 利用 ICT 利用 ICT 利用 ICT 利用 ICT 1 ICT	か。英語を利用した nis class, and Pre	はれば、忘れるで □ 遠隔授業対 sentation of	た の方が ある。 の方が できる。 のできる。 のできる。 のでは、 ののののののですが、 のののののですが、 ののののですが、 ののののですが、 のののですが、 のののですが、 のののですが、 のののですが、 のでは、 の	の到達目の の到達目の が現まる方の理解ででである。 ではまするが理解ででである。 ではまするが理解できます。 ではまするできます。 ではまするできます。 ではまするできます。 ではまするできます。 ではまするできます。 ではまするできます。 ではまするできます。 ではまするできます。 ではまするできます。 ではまするできます。 ではまするではます。 ではまするできまするできます。 ではまするできまするできます。 ではまするできます。 ではまするできまするできます。 ではまするできまするできます。 ではまするできまするできます。 ではまするできまするできます。 ではまするできまするできます。 ではまするできまするできます。 ではまするできまするできまするできます。 ではまするできまするできます。 ではまするできまするできまするできます。 ではまするできまするできます。 ではまするできまするできます。 ではまするできまするできます。 ではまするできまするできまするできます。 ではまするできます。 ではまするできまするできます。 ではまするできまするできます。 ではまするできまするできます。 ではまするできまするできます。 ではまするできまするできます。 ではまするできまするできまするできます。 ではまするできまするできます。 ではまするできまするできます。 ではまするできまするできまするできます。 ではまするできまするできます。 ではまするできます。 ではまするできまするできます。 ではまするできまするできます。 ではまするできまするできまするできます。 ではまするできまするできまするできまするできまするできます。 ではまするできまするできまするできまするできまするできます。 ではまするできまするできまするできます。 ではまするできまするできまするできまするできまするできまするできます。 ではまするできまするできまするできまするできまするできまするできます。 ではまするできまするできまするできまするできまするできまするできます。 ・ではなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	のため、家庭 でよい 実務経験 です アを聞き取るが理解できる できる できる できる できる が理解できる きまる ことができる が理解できる が理解できる きまく ことができる きょく ことができる きょく ことができる きょく ことができる かまくく ことができまく ことができまく ことができまく ことができまく ことができる かまく しょう	での日々の英語学習に	

専門的能力	30	0	0	0	0	0	30
分野横断的能力	0	25	0	0	0	10	25